

【ヤコブの手紙5章】

「あなたがたも耐え忍びなさい。心を強くしなさい。
主の来られるのが近いからです。」(5:8)

ヤコブ書を通して、①御言を聞くだけではなく、実行する(1-2章)②舌(言葉)をコントロールする(3章)③へりくだりきよくされ、この世の欲に打ち勝つ(4章)等語られていました。最後の章には④耐え忍びなさいと言われています。

☆「耐え忍ぶ」7節で、農夫の事を述べられていますが、農夫は大地の貴重な実りを、秋や春の雨が降るまでじっと待っています。早く芽が出るようにと、根を掘ってみたりは決してしません。「収穫」という希望を持って、時が来るのをじっと待ち、耐え忍ぶことが出来るのです。同様に私達も、主の再臨とリバイバル、魂の刈取りに希望を持って耐えてゆきましょう。希望があれば、耐えることは出来るのです。苦難の中で忍耐した預言者を見習うようにとっています。ヨブは非常な苦しみの中で、耐え忍びましたが、ヤコブ1:2にあるように、「さまざまな試練に会うときは、それをこの上もない喜びと思いなさい。」神様は愛のお方ですから、神を信じ信頼する者に、最善を成して下さるお方であることを信じ、**主を喜び感謝し、賛美しながら耐え忍ぶこと**は、歯を食いしばって、ひたすら我慢して待つよりもっともつと意味のあることです。

☆「心を強くする」というのは、信仰を強く持つということ、つまり、心のご飯をしっかり食べて(御言葉を食べる)心(霊)を強くしなさい。と言われています。**御言葉の中に解決があり、御言葉の中に希望があります。**

☆「再臨が近い」18年前東京の地下鉄での3月20日サリン事件がありました。シリアで化学兵器を使って考えられないほど恐ろしいことが起こっています。それに対して、アメリカが軍事行動に出て制裁を加えると言っています。エジプトも国内における対立は実に悲惨です。10万5千人余が死亡あるいは行方不明になったとされる関東大震災から、今日は丁度90年経ちました。過去の災害を通して学び、更に祈る必要があります。マタイ24章には、再臨の前の現象が述べられています。「感わし、戦争、戦争の噂、飢饉と地震、、、これらは産みの苦しみの初めだと言っています。偽預言者の出現、不法がはびこり、多くの人たちの愛が冷たくなる」その中で「**最後まで耐え忍ぶ者は救われます。**」(24:13)とあります。試練に遭って、途中で信仰をなくしたり、愛することをやめたり、祈ることを決して止めてはいけません。最後まで耐え忍ぶことが出来るように、主に祈り力を頂きましょう。

13節から「苦しんでいる人」「病んでいる人」に対してのお勧めがあります。それは**互いに祈りあい、助け合っていく事**です。

罪を言い表し悔い改めることによって、私達もあのエリヤの様に義人にされて、祈りに力を持つことが出来ます。互いのために祈ることで、癒され、神様の栄光が現われます。更に忍耐して祈り続け、備えて行きましょう。

*皆様のお手荷物・貴重品等には十分ご注意下さい。
教会内での紛失や盗難等については一切責任を負いかねます。



TLCCC FRH

天に登録されている長子たちの教会

Church of the Firstborn who are Registered in Heaven

主任牧師:イエス・キリスト

牧師:D大重 勝裕

SHILOAM

【シロアム：遣わされた者】

2013.9.1 No.752

今年のみ言葉

天よ。耳を傾けよ。私は語ろう。
地よ。聞け。私の口のことばを。
私のおしえは、雨のように下り、
私のことばは、露のようにしたたる。
若草の上の小雨のように。
青草の上の夕立のように。

私が主の御名を告げ知らせるのだから、

栄光を私たちの神に帰せよ。

主は岩。主のみわざは完全。まことに、主の道はみな正しい。

主は真実の神で、偽りがなく、正しい方、直ぐな方である。

申命記32:1~4



主の十字架クリスチャンセンター(TLCCC)

The Lord's Cross Christian Center

<http://astone-blog.jp/tlccfrh/>